



Miura city council news

みうら市議会だより

2023.5.1 第153号



- 令和5年度予算が成立
- 今後のまちづくりに関する議案を審議
- 任期末のあいさつ



総務経済

◎三浦市基金条例の一部を改正する条例

本案は、企業版ふるさと納税の寄附金を活用するため、基金を新たに設置するものです。

(質疑の主な項目)
・企業版ふるさと納税の寄附額と使い道について

◎三浦市漁港管理条例の一部を改正する条例

本案は、間口漁港内で行う駐車場の維持管理等業務に指定管理者制度の導入等をするものです。

質問 指定管理者が行う業務内容を伺う。

答弁 駐車場の維持管理、運営、遊漁船利用者との調整業務が想定される。

◎三浦市宮住宅条例を廃止する条例

本案は、市宮諸磯住宅の用途廃止に伴い、条例を廃止するものです。

(質疑の主な項目)
・諸磯住宅入居者の転居

◎事業契約の変更にについて

本案は、子育て賃貸住宅等整備事業契約について、物価変動による対価の改定のため、契約金額を増額するものです。

(質疑の主な項目)
・物価変動に伴う今後の費用見直しについて

◎令和四年度三浦市一般会計補正予算(第七号)

本補正は、歳入歳出それぞれ五億四千九百五十三万六千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)
・サテライトオフィス設置に関する今後の展開について

・ハザードマップ作成費用を減額した理由について

◎令和四年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、繰越明許費の設定をするものです。

(質疑は特にありませんでした)

都市民生

◎三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本案は、国民健康保険の税率改定等を行うものです。

(質疑の主な項目)
・保険税の改定率と市民の負担額について

意見 物価が高騰する中で市民の負担が増えるものであり、賛成できない。

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例

本案は、出産育児一時金の支給額について見直しを行うものです。

(質疑の主な項目)
・出産育児一時金の支給件数について



◎三浦市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

本案は、条例の適用区域に城ヶ島西部地区地区整備計画区域を定め、建築物の構造、用途等の制限について定めるものです。

(質疑の主な項目)
・今回の条例改正に至るまでの経過について

◎令和四年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

本案は、歳入歳出科目の区分ごとの金額を補正するものです。

(質疑の主な項目)
・国保人間ドックの受診状況について

◎令和四年度三浦市病院事業会計補正予算(第二号)

本補正は、収益的収入に二千五百九十八万八千円を、収益的支出に十四万二千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

◎令和四年度三浦市水道事業会計補正予算(第一号)

本補正は、収益的収入及び収益的支出に三百五十六万七千円を追加するものです。

質問 電気料が値上がりしているが、今後の水道料金に対する考えは。

答弁 光熱費の上昇を反映する予定はないが、二六%の引上げは予定どおり行い、経営状況等により見直しを図りたい。

◎令和四年度三浦市公共下水道事業会計補正予算(第三号)

本補正は、資本的収入に繰延運営権対価として千百万円を追加するものです。

質問 コンセッション事業者からの繰延運営権対価について伺いたい。

答弁 運営権者が地方公共団体から公共施設を運営する権利の譲渡を受け

る際に支払う対価のこと

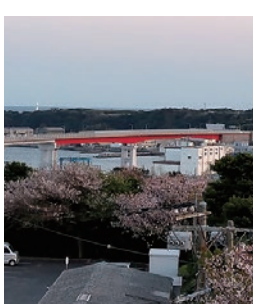
である。
意見 コンセッション方式による事業開始に向け、日本で四番目の事例として、しっかりと進めてほしい。

意見 コンセッション方式の導入自体に問題があると考えているので、本案に反対する。

※コンセッション方式：
料金収入のある公共事業において、民間事業者(運営権者)が市有施設を利用して事業を行う手法

◎市道路線の変更について

本案は、三崎町小網代字鷺野地内及び三崎町城ヶ島字西山地内の二路線に関するものです。
(質疑は特にありませんでした)



新たに提出された陳情

◎日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

趣旨 本陳情は、普天間基地周辺で生活する子どもたちが、安全・安心に暮らせる環境を実現させるため、学校上空の米軍機の飛行禁止の要請等について、国等に意見書を提出することを求めています。

◎陳情書（三浦市職員コンプライアンス行動指針について）

趣旨 本陳情は、市民が疑念を持つことがないよう、市長はじめ市職員が三浦市職員コンプライアンス行動指針を遵守するためのシステムを構築するよう求めています。



請願書・陳情書の提出方法

☆市政についての要望などを、請願や陳情として議会に提出することができます。

☆請願は、紹介議員が必要です。

☆書式等は、次の例にならってください。

・用紙はA4判を使用し、文字は横書きとしてください。

・趣旨は簡潔明瞭に書いてください。

・内容がいくつかにわたる場合（道路問題と学校問題など）は、別の請願（陳情）としてください。

・請願（陳情）者が複数の場合は、代表者を決めてください。

☆請願（陳情）者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。（前日までの申し出が必要です）

☆詳しくは、三浦市議会ウェブサイトをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

（請願書の表紙）

〇〇〇〇についての請願書

紹介議員 ○○○○ 印
○○○○ 印
(署名または記名押印)

（請願書・陳情書の本文）

〇〇についての請願（陳情）書

請願（陳情）の趣旨

請願（陳情）の理由

令和 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 ○○○○
氏名 ○○○○ 印
(法人の場合は名称、代表者名)
(署名または記名押印)

表紙写真の紹介

& ひとつ

議長の草間です。

今回の写真は、三月三日に撮影した剣崎灯台の写真です。

場所は、剣崎バス停から一キロ先の三浦半島の南東端の標高四十一メートルの高台にあるので、房総半島の館山から伊豆大島、新島さらに伊豆半島までを展望できます。

この剣崎灯台は、慶応二年の江戸条約に基づき、明治政府が明治四年に設置したもので、日本で七番目の洋式灯台として初点灯、現在の灯台は関東大震災後の大正十五年に再建のもので、参観灯台ではないので、内部の見学はできません。

私の剣崎灯台の思い出は、五十八年前に小学校一年生の遠足で、当時は剣崎灯台と呼んでいたこの場所まで剣崎小学校か

ら歩いて行き、最後の石畳の坂を上りきると、そこに大きな剣崎灯台があり感動しました。灯台の下でみんなと楽しくお弁当を食べ遊んだ思い出を今でも覚えています。

その当時は大きな灯台だなと思いましたが、今回撮影した日には、なぜか小さく感じました。

昔は、観光地として剣崎灯台まで、バスも通りバス停がありました。

最後の表紙は剣崎灯台にするつもりでした。

任期を終えてひとつ

振り返れば四年前に、議員の皆様のご推挙により議長を拝命し、これまで全力で議会改革に取り組んで来ました。

その成果として、議会だよりを刷新し全ページカラーで発行できたこと、そして、タブレット端末の導入による新しい三浦市議会を誕生させることができたことに対し、議員の皆様のご協力に感謝いたします。

予算審査特別委員会の審査から

一部抜粋

令和五年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の予算議案は、七人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、四日間にわたって審査を行いました。

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

質問 予算編成の際に重点を置いた施策を伺う。

答弁 市民生活に直結する道路等に関わる予算の確保を指示した。そのほか、子育て支援策等に重点的な配分をした。

質問 市が提唱した「海業」が国の計画に位置付けられた。五年度は海業元年として取り組むが、具体的な構想を伺う。

答弁 県と連携して三崎漁港のランドデザインを検討している。二町谷の事業用地の活用や、漁港区域とつらり周辺、下

一般会計

歳入

- ・法人市民税の収入が増加した要因について
- ・軽自動車税に関する本市の傾向について
- ・子育て支援に関する補助金について

歳出

- ・総務費
- ・移住定住促進の取組内容について
- ・電気自動車の導入と充電施設の整備について
- ・合併処理浄化槽設置に対する補助について



民生費

- ・心身障害児生活訓練会事業に関する費用の増額理由について
- ・親子相談センター「ひなたぼっこ」の相談体制の拡充について
- ・生活保護世帯数の傾向について

衛生費

- ・がん検診事業費の増額について
 - ・ゲートキーパー養成講座の開催予定について
- 質問** ごみ処理業務の民間委託について伺う。

答弁

五年度から新たにびん缶選別業務を委託する。また、現在は市が行っている九品目の収集も含めて、市のごみ処理全体の在り方を検討中である。

農林水産業費

- ・農産物の販路拡大の取組について
- ・二町谷の汚水処理施設の修繕について
- ・海を活用したプロモーションイベントの実施について

商工費

- ・農泊推進の取組について
- ・地場産品の販路拡大を旨とした物産展の開催について

質問

城ヶ島西部地区における広場の整備について伺う。

答弁

城ヶ島第二駐車場を広場とするもので、イベントで利用することや、分散する観光客の着地点を、一か所にまとめて効果的な情報発信を行うことを考えている。



土木費

- ・橋りょうの点検と修繕工事について
- ・住宅リフォーム助成の件数に対する考え方について

質問

空家等対策計画の改定に向けた取組について

て伺う。

答弁 五年度では空家等の実態調査を委託により行う。調査には時間を要するため、できるだけ早急に着手したい。

消防費

- ・第八分団詰所の移転に関する工事の進み具合について
- ・避難所運営委員会に関する話合いの再開について
- ・スタンドパイプの配備先について

教育費

- ・小学生の通学費補助の内容について
- ・姉妹都市交流の再開について

質問

三崎小学校を教育課程特別校としてグローバル表現科を新設することについて伺う。

答弁

グローバル化の中で表現力を身につけることを軸に、教科として取り組むもの。今後は全学年で年間を通した授業を行っていく。

公債費

特別会計

国民健康保険事業

- ・ 昨年より元金償還額が増加した要因について
- ・ 財政調整基金繰入金の使用目的について
- ・ 傷病手当金の積算方法について
- ・ 特定健診受診率の目標について

後期高齢者医療事業

- ・ 保険料の収入が増額となる理由について

意見

本医療制度は、医療を年齢で差別するものであり、制度自体に反対する。

意見

「健康を損ない労働等の義務が果たせなくなる前に診療を受けてほしい」という、制度の持つ意義を考えるべき。

介護保険事業

- ・ 認定調査員の人数と調査件数について
- ・ 認知症総合支援事業の予算額が増加した理由について

市場事業

- ・ 貸事務室の使用料収入

と使用者の増加について

水揚げ数量と金額の見込みについて

新たな超低温冷蔵庫の整備について



第三セクター等改革推進債償還事業

- ・ 現在の起債残高について

企業会計

病院事業

- ・ 医師の増員と勤務体制について
- ・ LED化更新工事の対象箇所について

質問

新型コロナウイルス感染症の五類移行後の診療体制はどうなるのか。

答弁

基本的には通常の疾患と同じ診療を行い、付属棟での発熱外来の診

療は終了する考えである。入院患者の面会については、五類移行を待たずに対面で行えるよう、ルール等を調整中である。

水道事業

- ・ 老朽管の更新を行う箇所について
- ・ 給水収益が減少した理由について

質問

三浦市水道ビジョンに基づく五年年度の取組について伺う。

答弁

四年度に引き続き、県営水道との事業統合等に向けた検討を進めたい。

公共下水道事業

- ・ 資産減耗費の増加理由について
- ・ コンセッション事業で行う建設改良工事の実施主体について

質問

コンセッション事業の開始に伴う予算の変化について伺う。

答弁

今後は、下水道使用料の八割が運営権者の収入になる。また、管渠や処理場等の維持管理に関わる市の予算は大きく減少した。

討論

賛成

反対

◇ 一般会計予算に対する討論を抜粋しました。各委員の反対・賛成の理由は次のとおりです。

反対討論

○小林直樹委員

市の職員数は定数より不足しており、市民サービスの低下を防ぐため適切な職員採用を求める。五年度中の廃止が発表された勤労市民センターは必要な施設であり、代替施設ができるまで存続を求める。

賛成討論

○千田征志委員

市税及び税外未収債権の徴収強化の取組は評価できる。

ふるさと納税に関わる業務の三浦市観光協会への委託、DX推進による業務の効率化など、将来を見据えた計画の実行に期待する。

○鈴木敏史委員
小児医療費助成の対象年齢引上げや就学援助の認定基準見直しは大変評価できる。

城山地区や城ヶ島西部地区等の開発による地域の活性化や、海業元年としての水産業・農業・観光業の発展に期待する。

令和5年度 各会計予算総括表

※金額は1万円未満を切り捨て

会計区分	令和5年度	令和4年度	比較	伸率(%)	
一般会計	182億2,148万円	178億1,868万円	4億280万円	2.3	
特別会計	国民健康保険事業	55億701万円	58億4,658万円	△3億3,957万円	△5.8
	後期高齢者医療事業	9億1,280万円	8億7,950万円	3,330万円	3.8
	介護保険事業	58億7,133万円	57億1,287万円	1億5,846万円	2.8
	市場事業	7億1,793万円	3億7,425万円	3億4,368万円	91.8
	第三セクター等改革推進債償還事業	2億6,343万円	2億6,424万円	△81万円	△0.3
	病院事業	35億3,994万円	37億5,967万円	△2億1,973万円	△5.8
	企業会計				
水道事業	20億6,631万円	20億7,531万円	△900万円	△0.4	
公共下水道事業	17億4,201万円	17億9,962万円	△5,761万円	△3.2	

予算審査特別委員会

- 委員長 出口 眞琴
副委員長 溝川 幸二
委員 蓮本 一朗
委員 鈴木 敏史
委員 千田 征志
委員 長島満理子
委員 小林直樹

本会議における討論



議案第14号 令和5年度三浦市一般会計予算
 議案第16号 令和5年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算

一般会計予算

反対討論

日本共産党 小林 直樹

各種サークルの活動拠点である勤労市民センターは、五年度中に廃止を目指すと言われたが、代替施設ができるまで存続させることを求める。

都市計画税は、全て公共下水道事業に繰出しされ、不公平な税金の使用を続けている。早急に具体的な排水処理方針の策定が必要である。無駄をなくし、公正で民主的な住民本位の行財政運営を行い、市民の生活と営業を守ることを求める。

賛成討論

自由民主党 長島 満理子

ふるさと納税活性化事業では、寄附金額十一億円を目指し、効果的な魅力発信や事務の効率化を目的として、業務の一部を観光協会に委託していることの成果に期待する。

また、小児医療費無償化の対象を十八歳まで引き上げるなど、子育て支援の充実を進めている。

本市の提唱した海業が国の計画に位置づけられた。海業発祥の地として、将来を見据えた計画実行に期待する。



賛成討論

公明・みらいクラブ 溝川 幸二

観光の核づくり推進事業や、三崎漁港を核とした地域活性化の取組、農業・漁業・観光業の連携による雇用の創出など、ウィズコロナを見越した市内経済の活性化に期待する。

海業振興のほか、城山地区の利活用事業、二町谷地区用地利活用、市民交流拠点整備事業の推進など、様々な重要課題が山積しているが、市民の声に耳を傾け、市民生活の向上が図られる、あつたかい市政運営を期待する。



後期高齢者医療事業特別会計予算

賛成討論

無所属 蓮本 一朗

本医療制度は、国民が支え合って高齢者の負担を少なくしようという制度で、平成二十年から運営されている。令和四年の制度改正では窓口負担の区分が新設されたが、急激な負担増とならないよう措置がされた。

また、保険料の決定等を行う県の広域連合の財務監査では、概ね適正かつ効率的な執行と認められている。以上の点から、本予算案は妥当なもの判断できる。

人事

市長から、次の方を監査委員として、任命・選任するための議案が提出され、原案のとおり同意しました。

監査委員

長 治 克 行 氏



市長から、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員

菊池 惠氏
 植坂 泰雄氏
 白勢 順子氏
 永井 朋子氏



本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第1号 三浦市基金条例の一部を改正する条例
- 第3号 三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 第4号 三浦市漁港管理条例の一部を改正する条例
- 第5号 三浦市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 第6号 三浦市営住宅条例を廃止する条例
- 第7号 事業契約の変更について
- 第8号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第7号）
- 第9号 令和4年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第10号 令和4年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 第11号 令和4年度三浦市病院事業会計補正予算（第2号）
- 第12号 令和4年度三浦市水道事業会計補正予算（第1号）
- 第17号 令和5年度三浦市介護保険事業特別会計予算
- 第18号 令和5年度三浦市市場事業特別会計予算
- 第20号 令和5年度三浦市病院事業会計予算
- 第21号 令和5年度三浦市水道事業会計予算
- 第23号 市道路線の変更について
- 第24号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第8号）
- 第25号 令和5年度三浦市一般会計補正予算（第1号）
- 第26号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

【諮問】

- 第1号 人権擁護委員の推薦について

《賛否が分かれた議案等》 ○賛成 ●反対

※議長は表決に加わらない

番号	件名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属	
			草間道治	千田征志	長島満理子	出口正雄	神田真弓	出口真琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗
【議案】第2号	三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第13号	令和4年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第14号	令和5年度三浦市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第15号	令和5年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	可決	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第16号	令和5年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第19号	令和5年度三浦市第三セクター等改革推進償還事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第22号	令和5年度三浦市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。第1回定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。



国保、学校給食

ごみ処理と環境、公民館活動
日本共産党 石橋 むつみ

質問 三浦市国保は低所得者の割合が高く、所得二百万円以下が七三・三%を占める。国保税市民負担の割合を問う。

保健福祉部長 所得の約一〇%である。

質問 国保は皆保険制度の根幹として大事な制度で、国庫負担なしには成り立たない。自治体の多様性、市町村の特徴などに配慮し運営すべきと考える。国庫負担割合の引上げを要望しているか。

市長 県内十九市中最高の加入率となっている三浦の国保事業は、県との連携で運営していく。国費投入の継続は市長会を通じて要望を続ける。

質問 三浦では昭和三十七年に初声小で初めて学校給食を開始。学校給食展でその歴史や地産地消、食育の取組などが展示さ

れていた。「食よし三浦学校給食」の内容は。

教育部長 市が学校給食会に食材費の補助金を出し、マグロカツとそばろ

丼、牛丼を提供した。児童・生徒は地元食材を満喫し、コロナ禍の影響を受ける市内の生産者・事業者への経済的援助も図られた。

要望 学校給食は学校教育の一環。三月まで給食費は国の補助金活用等で無償になっている。四月以降も、子どもたちの学びと体を守る学校給食の無償化を求める。



学校給食展の試食、コロナの影響で今年度は50食のみ


質問 キーワードの販売について何う。

都市環境部長 職員の制作では数に限りがあり、三浦建設業組合に相談して製作・販売が実現した。

要望 ごみ総排出量は一万四千九百トン、その内、生ごみを含む燃せるごみは約九千トン、燃せるごみの四五%が水分という。三浦市のごみ処理経費は全体で七億円。約四千トンもの水分処理経費を何とか減らせないか。取組の充実を願う。

質問 七年前に青少年会館が閉館、昨午南下浦市民センターが一時閉館、勤労市民センターの廃止方針、旧三中会合室暫定利用の今後は不明など、市民が生涯学習の場として施設が次々閉まっています。市が支えるべきと思うが、どう考えるか。

市長 市長室、政策部、市民部などによる横断的な組織で、生涯学習の場として公共施設の在り方の検討を進める。



アフターコロナほか
避難支援・六次産業化の取組み
無所属 蓮本 一朗

質問 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが五月八日に二類から五類に変わるが、これに伴って医療行政など市の役割は変わるのだろうか。

市長 市の役割とは、市民の皆様に対して基本的な感染予防対策や対応方法をお知らせすることである。今までと変わりはないと考える。このコロナ禍で外出自粛など、市民の皆様の生活にも大きな影響があった。市民生活を健康かつ安全・安心に過ごしていただくために、皆様にご協力いただくことなくしてはいけないことも多くあると思う。国や県の方針を注視して、市の広報紙はもちろん、コロナの状況をきつかけに活用が増えたLINEなども活用して市民の皆様

様に分かりやすい情報提供を行っていききたい。

質問 災害発生時の要配慮者の名簿について、どのように規定されているか。また、避難の支援は誰が行うのか。

保健福祉部長 市町村が避難行動要支援者名簿を作成することが定められている。避難行動要支援者の避難支援は、個別の避難計画を策定する際に、市と介護・福祉関係者などと連携しながら、要支援者の状況に合わせて（避難計画ごと）に支援実施者が定められていくものと考えている。

質問 神奈川県の六次産業化についていかががう。


また、三浦市でもその取り組みは行われているか。

海産水産担当部長 神奈

川県六次産業化推進計画では、経営規模が小さい農林水産業者が、魅力的な農林水産物を生産し販売できる体制づくりを支援し、地域資源の利活用や販路の開拓を推進することなどを基本的な考え方としている。横須賀市で、地域の特産品で低利用の魚類を新しい加工品として商品開発・販売して魚食普及の促進を図っているものがある。三浦市内の取組みとして、三浦にある事業者が未利用ちりめんを利用した商品開発・販売事業を行って六次産業化を実現し、経営の安定化を図っている。



ちりめんじゃこ



安心できるまち
観光の核づくり・消費者行政等
自由民主党 千田 征志

質問 城ヶ島西部地区まちづくりプロジェクトについて、新たな宿泊施設整備と並行して市道一五三〇号拡幅整備など基盤整備は進んでいると承知しているが、今後のスケジュールを伺う。

市長室長 新たな宿泊施設の整備に関しては、ヒューリックが令和五年度中の着工を目指しているのと伺っている。市は、市道一五三〇号拡幅整備などの基盤整備を令和六年度中の完了を目指して進める予定である。

質問 城山地区の事業用地売却はいつ頃になる予定か伺う。

市長室長 国土調査法第十九条第五項の規定に基づき登記事務を完了し、土地売買契約の内容に即した合筆登記や分筆登記などを行う準備を本年度

内に整えた。今後は契約候補者と土地売買契約の詳細について取り決め、用地整理に関する手続は令和五年六月を目途に進める予定である。

質問 令和四年四月一日から改正民法が施行され、成年年齢が十八歳に引き下げられ、親の同意なく一人で様々な契約を行えるようになっていくが、具体的に何が変わるのか伺う。

市民部長 具体的には、携帯電話の契約、部屋の賃貸契約、ローンを組む、クレジットカードの作成など、親の同意を得なくても自分の意思で様々な契約ができるようになる。質問 トラブルに巻き込まれた際の処置について伺う。

市民部長 消費者庁が中心となり、消費者ホット


ライン一八八（いやや）を周知している。本市では、週一回、木曜日の午前九時三十分から午後三時三十分の間に消費者相談窓口を開設している。

質問 今後の啓発への取り組みについて伺う。

市民部長 令和四年度は、市内中学校の全生徒を対象に「中学生のかしい消費生活」というリーフレットを三月中に配布。進学・進級の時期に合わせて消費生活に関する知識を身につけてもらうことで将来起こり得るトラブル等に巻き込まれないよう注意喚起ができればと考えている。



「中学生のかしい消費生活」のリーフレット



現状とこれから
 空き家対策と学校教育ビジョン
 公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 空き家の老朽化の状況に応じた内訳を聞く。

都市環境部長 空き家の状態を老朽危険度として

AからDの四段階でランクづけられる。令和四年十二月末現在で、Aランクは、小規模の修繕により再利用可能なもの百五十件、Bランクは、中規模の修繕を要するもの百六十二件、Cランクは、大規模修繕が必要なもの八十七件、Dランクは、危険性が高い状態のもの二十五件である。

質問 空き家が増加するきっかけとなる人口及び世帯数の減少、高齢化は今後も続くことが予想されるが、これからの展開や考えについて聞く。

市長 空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するために、令和元年に策定した三浦市空

家等対策計画の計画期間は令和七年までのため、

現在、改定作業に取り組み時期である。空家等対策計画の改定に向け、令和五年度においては、平成二十七年以来となる実態調査を実施し、その結果を分析して改定の基礎資料とするほか、現在行っている空き家等の老朽危険度の状態に応じた取組に加えて、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく特定空家等への指定に向けた検討に取り組みたいとも考えている。

質問 三浦市学校教育ビジョン改訂の内容等を改めて確認する。


教育部長 改訂の主な内容は三つである。一つ目は、段階的に新たな学校づくりをする。学校づくりとは、望ましい学級規

模を確保するために学校再編を進め、小中一貫教育を目指すこと。二つ目は、通学の安全確保の方策を学校再編とは別に講ずる。三つ目は、学校として使用しなくなる施設活用方法について、全庁的に課題を提起する。具体的方策は、三浦市学校教育ビジョン第三章に記載をした。

また、小中一貫教育に関し、改訂版では、第一段階の二十一人以上程度の学級を確保するという整備の中では小中連携教育として、第二段階の一中学校区二小学校の学校体制を整えた後、小中一貫教育の実現を目指す



統廃合検討対象になった三崎小学校



市役所の移転後
 小学校の統廃合 包括センター
 日本共産党 小林 直樹

市役所移転後の出張所

質問 令和八年四月に市役所本庁舎は、引橋の市民交流拠点に移転する予定である。

市役所の移転後、出張所、公民館、図書館の機能を備えた市民センターを設置すべきだが、どのように考えているか？

市長 コミュニティー機能の配置は必要であると

考えている。しかし、出張所の設置は計画していない。

質問 旧三崎中学校の土地売買契約がされた場合、津波避難所の指定は、どうなってしまうのか？

防災危機対策室長 三崎小学校や岬陽小学校など近隣の避難所への受け入れなど、あらゆる可能性を探って行く。

意見 市役所の移転後に出張所は設置しない。勤

労市民センターも廃止にしてしまう。三崎小学校

が統廃合検討対象校になった。そして、旧三崎中学校の避難所がなくなってしまうかもしれない。市長は、三崎地区の住民の暮らしのことを本気で考えているのか疑問である。



三浦市役所 本館

小学校の統廃合計画

質問 学校教育ビジョン改訂版では、一学級二十一人以上程度の学級が維持できる学校規模を確保

するため、統廃合検討対象校を決定するとある。なぜ一学級二十一人以上程度としたのか？

が望ましいと考えている。一か所増設することに向け検討している。

教育部長 保護者や教員がアンケート調査において、「望ましい」「理想的」と考える規模が一学級二十一人から三十人程度の規模であったためである。

意見 アンケートの設問が、たまたま「二十一人から三十人」となっていただけで、二十一人を基準にするのは合理的だとは言えない。



三浦市立三崎小学校

地域包括支援センター

質問 地域包括支援センターの設置は、日常生活圏域である中学校区に一か所が目安になっている。三か所必要だが、どのように考えているか？

保健福祉部長 地域包括支援センターは、三か所が望ましいと考えている。一か所増設することに向け検討している。



マラソン不正事案

民事訴訟の判決後の取り組み

無所属 寺田 一樹

質問 三浦国際市民マラソン実行委員会を舞台に、元事務局長が、裏金捻出と不正な経費精算などで、市や実行委員会に合わせ

て四千万円超の損害を与えた。元事務局長は刑事訴訟の結果、懲役三年、執行猶予五年の有罪判決を受けることになった。しかし刑事訴訟では、不正行為の一部しか取り扱われず、また元事務局長から謝罪や賠償の意思がなかったことから、不正行為の全体を明らかにすること、元事務局長の社会的責任を追及することを趣旨として、市と実行委員会は民事訴訟を起した。昨年五月に確定した判決で三千万円超の賠償が命じられた。これまでの間に元事務局長から返済があったのか。

経済部長

返済はない。

質問 今後どうやって債権を回収していくのか。

経済部長 現状において、直ちにまとまった額の徴収は難しいが、たとえ少額であっても継続的な回収を積み重ねていきたい。**質問** いつ頃を目途にこの問題を解決させようとしているのか。

経済部長 判決に基づいた強制的な回収姿勢をとることも可能だが、元事務局長の自発的かつ継続的な返済が約束されることを望ましいと考えている。特にその点について、早期に解決を図りたい。



第38回三浦国際市民マラソン

質問 不正事案は、吉田市長が在任中に発生し、発覚した。次は誰が市長になるかわからないので、今の市長の任期中に解決させてもらいたいと思うが、市長の考えを聞く。

市長 全額の賠償によって社会的責任を取ってもらう姿勢は崩さない。継続的な回収に努めていくことで市としての責任を果たしていきたい。**意見** 税金を滞納した市民に対して「滞納は許さない！」の基本方針のもと厳しく債権回収に努めている。一方、同じ釜の飯を食った仲間に対しては対応が甘いと感じる。二年後、もしかしたら市長が変わっているかもしれない。決して後任の市長にツケを回すようなことはしないでほしい。市長には、いざとなったら退職金を返上するくらいので、また職員には、市民が納得できる結末を迎えられるよう取り組みんでもらいたい。



海業の推進

南下浦コミュニティセンター

自由民主党 長島 満理子

質問 南下浦コミュニティセンターについて、供用開始後は指定管理者が運営していくが、ダイサ

ンカフェ設置、三浦市初の読み聞かせスペースのある図書館や貸室など、地域コミュニティの拠点になるように整備されるが、特色を伺う。

市民部長 南下浦コミュニティセンターの特色は事業者提案エリアがあることで、常設するカフェ、誰でも低廉な使用料で飲食店等をスタートできるチャレンジショップを検討している。図書館南下

浦分館は、親子で気になった絵本を見たり、読み聞かせができたりするキッズコーナーを設置する予定である。子育て世代が利用しやすい環境を整備する予定である。

質問

新施設の完成及び

供用開始に向け、どのような施設になるか、市長の考えを伺う。

市長 本施設に今まで以上の賑わいが創出され、地域住民を含む多世代の方々が交流することで人の輪が広がるような場所となることを望んでいる。南下浦地域の交流拠点となり、新たな価値や地域活性化が生み出されることに期待する。三浦ならではの特色ある暮らし方や交流の様子を発信し、三浦市の魅力を広く伝える考えである。



コミュニティ広場

質問 水産庁の海業振興のモデル地区に北下浦漁港の上宮田地区を応募したが、取り組みの検討について伺う。

海業水産担当部長 北下浦漁港の上宮田地区について、海業の取り組みは官民連携で進めていく考えである。漁港用地を海業に活用するには、補助用地や単独用地に加え、国有海浜地等の活用も考慮した事務手続きが想定されるが、課題解決に向けた助言を受けるため、モデル地区に応募した。

質問 海業元年、日本のまちづくりを掲げる市長の所信を伺う。

市長 国政の場でも小泉代議士から力強い応援を頂いている。水産庁をはじめ、県水産課とも密接に連携をし、海業の取り組みを広めていきたいと思っている。国の制度改正の状況も十分注意しながら、海業日本一のまちづくりを目指し取り組みを進めていく。



公共下水道事業

虐待根絶宣言について

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

質問 三浦市公共下水道におけるコンセッション事業は、四月からスタートするが、思いを伺う。

市長 国内でも四例目であり、管路施設の改築、増築を含む事例としては国内初と認識している。平成二十七年度という早い段階から検討を開始し、前例が少なく苦労も多かったが、国土交通省からの手厚い支援もあり、四月から事業をスタートできる。事業を開始してからが本番である。ここで安心することなく、市がすべき役割をしっかりとっていくとともに、全国の中小自治体のモデルとなるような結果を出していきたい。

虐待根絶宣言

質問 障がい者の虐待に対する市の考え方を伺う。

保健福祉部長 「障害者

虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、何人も障がい者に対し虐待をしてはならないと考えている。

質問 虐待の相談や通報に対する今後の対応について伺う。

保健福祉部長

障がい者に対する虐待の発生予防の周知に努める。また、虐待を早期発見し、未然に防ぐために、障害福祉サービス提供事業者に対して研修などを行っている。さらに、障がい者虐待に関する相談や通報などがあつた際には、三浦市障害者虐待防止センターの機能として、速やかな解決に向けてしっかりと対応していく所存である。

意見 平成二十八年七月

県立障害者支援施設、津

久井やまゆり園で十九人の生命が奪われる大変痛ましい事件が起きた。神奈川県では「当事者目線の障害福祉推進条例」が四月一日より施行される。三浦市において「虐待根絶宣言」をするべきではないかと考える。三浦市にとつて、虐待根絶を宣言することは、弱者を守る地方都市のモデルになり得る。そして、早急に虐待防止に特化した、し

がらみのない第三者機関をつくるのが望まれる。「三浦市民」等の広報を利用し、公にすることで虐待防止の効果は上がり、市民の虐待防止の喚起になると考える。全ての世代の人に虐待のない地域社会をつくるため、全力を挙げる所存であることを申し上げる。



神奈川県障害者虐待防止パンフレット



あつたかいまち

子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

学校教育ビジョン

質問 ビジョンの公表とともに、三浦市のあるべき教育体制などについて、多くの市民の方が自分の考え、ポリシーを発信され、市長は市民の声や思いなどに真摯に耳を傾け、段階的という現実的な対応で統廃合にシフトした。その次のステップである個別計画はいつ策定されるのか伺う。

教育部長 個別計画は、基本的な事項の合意が得られ次第、速やかに策定する。保護者や地域の方々との意見交換会を十分に実施し、不安を払拭したい。通学の安全や児童の交流、施設の検討など数多くの事項があるが、統廃合の時期の設定が一番大きな事項だと考える。**要望** 統廃合に向けた児童、保護者に対する十分な配慮を。統廃合が必要だと結論に達した場合は早い時期に伝え、「すべ

ては子どもたちのために」を崩すことなく寄り添う姿勢を保つよう要望する。



上：南三浦小
左：剣崎小



環境行政 三浦市地球温暖化対策

質問

ZOO創業者の前澤氏から、再生可能エネルギーの関心が高い自治体として三浦市に五百万円がふるさと納税の形で寄附された。どのような事業に有効活用し、前澤氏の気持ちに応えるのか伺う。

市長 三浦市としては、令和二年に宣言したゼロカーボンシティみうらを推進するため、学校等の公共施設へ太陽光発電設備を設置する費用等に有効活用していきたい。

質問 ヤングケアラーの定義について伺う。

保健福祉部長 明確な定義はないが、厚生労働省は、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子供を示すとしている。

質問 療育の体制は整いつつあるが、今後も療育が欠かせない子供たちが増加することが想定される。希望する全ての子供を受け入れる取組を伺う。

保健福祉部長 訓練会の利用を希望する人数が多い場合でも、開所日数を増やしたり、利用日数を調整して運営している。相談や健診の場面などで、情報提供体制を整えて情報発信をする。



子育て支援の取組

小児医療費助成制度の拡充等

公明・みうらクラブ 藤田 昇

質問 小児医療費助成制度の拡充について、これまでも公明党として毎年の市長への予算要望でも要望してきている。平成二十二年に小学校一年生だった対象を翌年から一学年ずつ引き上げ、平成三十年度に現在の中学校三年生までの助成となり現在に至っている。また、十八歳までの拡充の要望については、令和三年十一月に、公明・みうらクラブからの市長に対する令和四年度政策提言や、前議会での一般質問においても十八歳までの拡充について要望している。

そこで、令和五年度に実施を予定している制度の実施スケジュールについて伺う。

保健福祉部長 制度開始については、令和五年十月を予定している。

質問 学校給食費の補助について、令和四年度に活用できた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と同様の補助事業に活用できる国の交付金があった場合には、令和四年度に引き続き学校給食費の全額補助を行う考えはあるのか、市長のお考えを伺う。

市長 給食費を無料にした今回の施策は、子育て世帯に対する直接的な経済支援策として非常に有効であったと思うし、行政としても効率的であったと考えている。給食費を全額市が負担する場合、年間約一億円の予算が必要となる。これは大変大きな財政負担である。令和四年度と同様の財源構成で給食費の負担ができるなら、諸物価高騰の影響が生活に及んでいる

子育て世帯に対する経済支援として、学校給食費を市が負担する施策の実施は検討に値すると思う。

質問 防災・減災対策のクラウド型被災者支援システムについてもこれまで提案、要望してきているが、被災者支援システムを導入することによって、被災者の援護事務に被災者台帳情報を庁内連携でき、罹災証明書の発行についても迅速化が図られる。このシステムの導入に関する進捗状況について伺う。

防災危機対策室長 令和五年度に自治体基盤クラウド型被災者支援システムの導入を考えている。被災者台帳情報の庁内の連携と罹災証明書のコンビニ交付が可能となる。



【小学校・学校給食】



施政方針

市立病院・勤労市民センター

自由民主党 出口 眞琴

質問 市立病院の医療体制の強化について伺う。

病院事務局長 増員は一名は呼吸器内科、もう一名は総合診療科となっている。

質問 四月からの横浜市大の小児科の医師の派遣について伺う。

病院事務局長 四月以降、常勤で小児科に着任する予定である。

質問 医師の体制は全部で何名となるか伺う。

病院事務局長 総病院長も含めて、総勢十八名体制となる。

質問 三浦市立病院はほかの医療機関とどのような連携を図っているのか伺う。

病院事務局長 連携協議体が現在は十一病院に拡大、各医療機関の持つべき機能、持たざる機能を補完し合い連携している。

質問 市立病院のこれらの経営強化策をどう考えるか伺う。

病院事務局長 他の医療機関との連携が大きく寄与すると考える。令和五年度中に策定する公立病院経営強化プランにも反映したい。



三浦市立病院

質問 個別施設計画における勤労市民センターの方針について伺う。

市民部長 廃止を前提に当面の間、運営を継続する。施設の必要性がさらに低下した場合に廃止の決定を行う。

質問 施設及び設備の現状について伺う。

市民部長 建物及び設備等は著しく老朽化しており、改修は設備そのものを入れ替える必要があり、多額の費用が生じる。

質問 施設の廃止について、利用者に対しどのような説明をするのか伺う。

市長 廃止の検討を進めることを書面により利用団体等に配布し、ご意見、ご質問などがあれば市で直接お聞きして丁寧に説明していく。

質問 利用者の活動の場の確保について伺う。

市長 市内の公共施設などを案内したり、自治会の施設、民間の施設などの利用の可能性についても調査、ご案内できるように努める。

要望 廃止の検討とともに、現在の利用者や市民の皆さんにとって有意義な活動の場の在り方についてぜひ検討していただき、施設利用者が納得する取組をお願いしたい。



三浦市の課題

合併処理浄化槽、防災対策

自由民主党 出口 正雄

合併処理浄化槽について

質問 合併処理浄化槽の設置促進について、普及の促進に向けた検討に具体的な進展があるのか伺う。

市長 公共下水道事業を実施している地域以外では、単独処理浄化槽やくみ取便槽から合併処理浄化槽への転換に際し、費用の一部を補助し、令和

三年度からは補助対象を共同住宅、店舗等併用住宅にも拡充し、事業の進捗を図っている。一方で、現制度では設置費の一部のみの補助で市民負担が大変大きく、公共下水道と比べると普及に時間がかかることは間違いない状況である。西南部地区の公共下水道整備は、令和三年度までの検討で、将来の人口減少を見据えると合併浄化槽が有利と

なる可能性があり、西部、南部地区の排水処理として市が浄化槽を設置し、維持管理を行う公共浄化槽が最適な方法か、どのようなスキームであれば事業実施が可能かなどの検討をしている。今後も三浦の海をきれいに清廉に保つため、排水処理事業の促進に取組む。

防災対策について

質問 防災対策は市民の生命、身体、財産を諸災害から守るために絶対的に必要だと信じている。トルコ、シリアで発生した大地震は、両国で五万人を超える死者が確認されている。三浦は三方を海に囲まれ、海底で発生した地震では津波が想定される。大雨や土砂災害などを含む自然災害全般について、総括と今後の展望を伺う。

進めてきており、災害への備えは一朝一夕にできることではないため、自助、共助、公助による防災力の強化を目指しハザードマップの配布や訓練、民間協定締結など出来ることを積み重ねていく。

市長 トルコ南部シリア

国境付近で発生した大地震は、世界最大規模の内陸地震と言われ、被災地の映像に心が痛む。土砂災害でも世界的な気候変動により規模の拡大が懸念され、これまでの対策では対応しきれない自然災害が増えてきているように感じる。三浦市としては、災害発生による被害を最小限に抑えるため、ハード面だけでなく、避難所運営委員会の活動や自主防災組織の育成支援などソフト面での対策を進めてきており、災害への備えは一朝一夕にできることではないため、自助、共助、公助による防災力の強化を目指しハザードマップの配布や訓練、民間協定締結など出来ることを積み重ねていく。



三浦市役所

新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応

議会災害等対策本部

二月十三日

◎三月定例会の運営方法等について協議した。

・本会議及び委員会では間隔をあけて着席、傍聴者の人数制限、検温等の感染症対策を前回と同様にを行う
・予算審査特別委員会では、昨年行った総括質疑の人数制限を行わない

三月二十日

◎災害等対策本部の継続について協議した。

・任期満了まで引き続き設置する

国の方針として出された「マスクの着用についての考え方」（三月十三日以降は個人の判断を基本とする）を受け、最終日の委員長報告や任期末の挨拶はマスクを外して行われしました。



広告を掲載しませんか？

「みうら市議会だより」に掲載する広告を募集しています。

議会だよりは市内各世帯(およそ 17,300 部)に配布するほか、市役所、市民センター、市立病院、市内の駅などにも置いてあり、多くの方にご覧いただいています。

広告規格及び掲載料

例：縦 4.2cm × 横 6.3cm

1 回につき

・カラーページ 12,500 円

★複数回の場合、掲載料が安くなります！



詳しくは、議会ウェブサイト内の募集ページをご覧ください！



～任期を終えてひとこと～

人生で一番早く過ぎ去った四年間でしたが、先輩議員の皆様よりご指導いただき、総務経済常任委員会副委員長を無事務めあげられました。ありがとうございました。



溝川 幸二

防災態勢の強化を軸として議員活動を行い、都市民生常任委員会の課題に取り組みました。また初声町各区の土木工事、会館建設等の事業等をご支援できたのは大きな喜びです。



蓮本 一朗

1期4年間は、主に「城山地区利活用」・「学校教育ビジョン」・「水道事業」等に取り組んできました。これまでに多くのご支援を頂き、誠にありがとうございました。



鈴木 敏史

以前から親交のあった人、新しく出会えた人、すべての人に支えられて、また、温かく見守っていただき議員として活動することができました。ありがとうございました。



寺田 一樹

令和3年6月の三浦市議会議員補欠選挙に当選後、二元代表制の一翼として議会の役割を踏まえ挑戦を続けて参りました。無事に任期を終えられる事心より御礼申し上げます。



千田 征志

4年の4分の3はコロナ禍真只中。人と人が心通わせる大切さ、人を慮る難しさを格別感じた日々でした。市民の不安に応えたか、希望を共に語れたかと振り返りつつ…



石橋 むつみ

人口減少が続く三浦市は、経済振興と市民の命と財産を守る、誰もが「住みたい町」への安全対策が不可欠です。政官民が一丸となった今後の取組みに期待しています。



出口 正雄

コロナ禍によってイベントの中止など三浦の賑わいが減り地域交流の必要性を感じました。皆さんと会話を楽しむ笑顔の花が咲きほこる地域を作り続けていきます。



長島 満理子

この4年間も、暮らしやすい三浦市をつくるために、小学校の統廃合計画や市役所の移転後などについて、一般質問を行ってきました。ありがとうございました。



小林 直樹

この度、党の定年制により今期で退職となります。4期16年間多くの市民の皆様の声をお聞きし、数々の実績を築く事ができました。ご支援に心より感謝申し上げます。



藤田 昇

今季はコロナ対策に追われる3年間でしたがコロナ感染症の収束に向けた兆しが見えてきました。アフターコロナを見据えて、地域経済活性化等に様々な取り組みを行います。



出口 眞琴

女性の視点で市政に向き合うというスタンスは決してぶれることなく慈しみのある町づくり、郷土愛を大切にされた地域振興、安心感が持てる子育て等に取り組みました。



神田 眞弓

6月定例会について



お家でも議会が 見学できます！

本会議の映像をユーチューブで配信しています。
スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

三浦市議会
ウェブサイトは
こちらから➡



議員の紹介や会議録など、議会に関する情報がご覧になれます。

改選後、初の議会となる臨時会は、5月の中旬ごろに招集され、正副議長や各委員会委員の選出などを行います。

第2回定例会（6月）の日程及び本定例会で審査される請願・陳情の提出期限は、臨時会開催後に決まりますので、みうら市議会だより第154号（6月1日発行予定）や三浦市議会ホームページからご確認ください。

任期末のあいさつ

四月三十日をもって第十七期議員は任期満了を迎えました。定例会の最終日、全日程の終了後には、草間議長から挨拶が述べられました。

（挨拶の概要）

私たちは、平成三十一年四月及び令和三年六月の選挙におきまして、市民の厳粛な信託を受けて市議会議員に就任しました。この間、「市民に開かれた、市民のための議会」を目指して議会改革を進めてまいりました。

この任期中においては、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、議会といたしましても、かつて例のない柔軟かつ慎重な議会運営が求められた三年間でありました。

今任期中、議長の職責を大過なく務めさせていただきました。ご支援をいただいた市民の皆様、議員各位、市長並びに補助執行機関の全職員の皆様のご協力に対しまして感謝と御礼の気持ちを申し上げます。



編集委員コラム

編集委員

石橋 むつみ

今まさに三寒四温の真最中。寒い！暖かい！の繰り返しですが皆様お変わりありませんか？

今年は、ソメイヨシノの開花が早く、四月六日の入学式まで持つのか心配です。

この議会だよりが皆様の手元に届く頃は、何の花が満開でしょうか。

編集委員一同、読みやすく、議会を身近に感じられる様にと心砕いてきました。今後も辛口甘口のご意見お寄せ下さい。

議会だより

編集委員会

委員長

草間 道治

副委員長

小林 直樹

委員

蓮本 一朗

溝川 幸二

石橋むつみ

出口 正雄